

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(1) ①	選択・短答・記述式	2分	易・普通・難

【1】 つたえたい内ようを話し合い、次の3つに決めました。「つたえたい内よう①～③」に一番ふさわしいしりょうを【しりょう】A～Dのうちからそれぞれ1つずつえらびましょう。また、えらんだ理由を【理由】ア～エのうちからそれぞれ1つずつえらびましょう。ただし、同じものを2回えらばないようにしましょう。

＜つたえたい内よう＞

① 「水道の水はどこの水をつかっている？」

【しりょう】

【理由】

(ア) 水が様々なことに用いられていることがわかるから。
 (イ) 水の入手方法の発てんの様子ができるから。
 (ウ) 川の水をきれいにするまでの様子ができるから。
 (エ) 水をどこから集めるかがわかるから。

A
千葉県の水道ができるまで
1930年ごろの川の水や井戸の水

1934年～頃の水道がつくられた


B
千葉県の川とダム


生活用水のダム
農業用水のダム
工業用水のダム
多目的のダム
導水路

C
じょう水場のしくみ


D
どうぶ工場で水を使ってどうぶをつくる様子


＜出題のねらい＞

調べたことを効果的に伝えるためにどうしたらよいか（課題）を考え、根拠に基づいて適切に資料を選択できるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「見いだす」課題を明確にする。

「自分で取り組む」情報を収集し調べる。

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

学習の導入では、単元全体のゴールを明確にし、児童が話し合いを通して目的に対してどのように学習するか考えさせ、見通しをもたせることが大切です。相手に伝えるための資料を作成する際には、情報の収集や整理・分析の場面でのどのような資料を選択したらよいか、根拠と共に考えさせましょう。資料の必要性を批判的に考える機会を日常の授業に取り入れましょう。

＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 伝えたい内容①に合った資料とその理由について正しいものを選んでいる。	資料 B—理由工
2	伝えたい内容①に合う資料は正しく選んでいるが、その理由については正しく選んでいない。	資料 B—理由工以外
3	伝えたい内容①に合う資料を選んだ理由は正しく選んでいるが、その資料については正しく選んでいない。	資料 B 以外—理由工
4	伝えたい内容①に合う資料とその理由の両方について、正しく選んでいない。	資料 B 以外—理由工以外
0	無解答	—

個票への記述
つたえたい内よう①「水道の水はどこの水をつかっている？」に合うしりょうを正しくえらび、その理由も理かいてきています。あい手にこうかてきに内ようをつたえるため、今後もこの見方を大切にしましょう。
つたえたい内よう①「水道の水はどこの水をつかっている？」に合うしりょうが B「千葉県の川とダム」であると理かいてきています。つぎは、あい手にこうかてきに内ようをつたえるため、えらんだしりょうをつかうことにどのような理由があるのかを考えましょう。
つたえたい内よう①「水道の水はどこの水をつかっている？」に合うしりょうをえらぶ理由は理かいてきています。つぎは、あい手にこうかてきに内ようをつたえるため、しりょうをよく読み取り、えらんだしりょうでつたえることができるじょうほうは何かを考えましょう。
つたえたい内よう①「水道の水はどこの水をつかっている？」に合うしりょうとその理由を正しくつかみましょう。また、あい手にこうかてきに内ようをつたえるため、しりょうと理由をよく読んで、つながりを考えましょう。
問題をよく読んで、つたえたい内よう①「水道の水はどこの水をつかっている？」に合うしりょうを考えましょう。また、あい手にこうかてきに内ようをつたえるため、しりょうと理由のつながりを話し合うなどして、よく考えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(2)	選択 短答・記述式	7分	易 普通 難

ななみさんたちは、じょう水場のスライドをたん当します。スライドの下書きを見て、よりよくなるために話し合いました。

スライドに文字が多くてつたわりにくいね。文字数を少なくしたらどうかな。

つたえたい大事な内ようは落とさないようにしよう。

(2) ななみさんたちは、スライドの色が違ってある部分の文を【書き直した文】①～④のように書き直しました。グループで話し合った内ようが一番ふさわしい文を【書き直した文】①～④から1つえらびましょう。またその理由を【理由】⑤～⑧から2つえらびましょう。

【「川の水が飲み水になるまで」のスライド（下書き）】

川の水が飲み水になるまで
～じょう水場でしていること～

川から取り入れた水には、どろやすなどの小さなよごれがまざって、そのままでは飲めません。じょう水場では、ごみを薬品でためたり、しずめたりして水をきれいにしていきます。そして、にがりやにおい、有害物質（ゆうがいぶつ）などが、きれいに水質検査（すいしつけんさ）をしています。

【書き直した文】

① 川の水は小さなよごれがまざって、そのままでは飲めない。
 ・薬品などで水をきれいにする。
 ・よごれや有害物質がないか水質検査をする。

② 川から取り入れた水には、どろやすなどの小さなよごれがまざって、そのままでは飲めない。
 ・じょう水場では、ごみを薬品でためたり、しずめたりして水をきれいにしていく。
 ・そして、にがりやにおい、有害物質などが、きれいに水質検査をしています。

③ よごれがある。
 ・きれいにする。

④ 川から取り入れた水には、どろやすなどの小さなよごれがまざって、そのままでは飲めない。

【理由】

⑤ 元の文章より文字をへらしているから。
 ⑥ つたえたい大事な内ようがすべて入っているから。
 ⑦ つたえたいことがくわしく書いてあるから。
 ⑧ 元の文章の一部を書いているから。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	画面に提示する文とその理由（文字数が少ないことと要旨が欠落していないこと）について正しいものを選んでいく。	文①－理由⑦⑧
2	画面に提示する文は正しいものを選んでいくが、その理由については、2つのうちいずれかのみ正しいものを選んでいく。	文①－理由⑦⑧のいずれかを含む
3	画面に提示する文は正しいものを選んでいくが、その理由については、正しいものを選んでいない。	文①－理由⑤⑥
4	理由については正しいものを選んでいくが、画面に提示する文については、正しいものを選んでいない。	文①以外－理由⑦⑧
5	画面に提示する文は正しいものを選んでいくが、その理由については、2つのうちいずれかのみ正しいものを選んでいく。	文①以外－理由⑦⑧のいずれかを含む
6	画面に提示する文とその理由について正しいものを選んでいく。	文①以外－理由⑤⑥
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

<出題のねらい>

スライドの内容をわかりやすく伝えるために、適切な文字数と文の内容を考え、根拠に基づいて修正できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」自分の考えを形成する。思いや考えを基に創造する。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

発表資料を作成する際には、効果的に情報を伝えるために、相手や目的を意識して、伝える方法がふさわしいかを考えさせ、話し合う活動の中で、改善点を見出すよう指導することが大切です。相手や目的を意識した内容や形式、量になっているかを確認、よりよい発表となるよう導きましょう。

個票への記述
スライドでじょう水場についてわかりやすくつたえるためにふさわしい文とその理由について、正しいものをえらぶことができます。今後も発表をする相手や目的に合わせて発表の仕方をくふうしましょう。
スライドでじょう水場についてわかりやすくつたえるためにふさわしい文を正しくえらぶことができ、その理由について正しくえらべたものもあります。次は、発表をする相手や目的に合わせて発表の仕方をくふうしましょう。
スライドでじょう水場についてわかりやすくつたえるためにふさわしい文を正しくえらぶことができましたので、さらにどうしてその文が画面にのせる文としてふさわしいのか、考えてみましょう。今後は、発表をする相手や目的に合わせて内ようなどを考えましょう。
スライドでじょうほうをつたえるときには、文字数が少なく、大事な内ようが入っていることが大切であることを理かいてきています。見る人につたわりやすいように、文字数が少なく、大事な内ようが入っている文はどのような文か考えましょう。
スライドでじょうほうをつたえるときには、文字数が少なく、大事な内ようが入っていることが大切であることを大体理かいてきています。見る人にわかりやすくつたえるために、てき切な文字数と文の内ようになっている文はどのような文か考えましょう。
スライドでじょうほうをつたえるときには、文字数が少なく、大事な内ようが入っている文であることが大切です。見る人につたわりやすいような文を、もう一度考えてみましょう。
スライドでじょうほうをつたえるときには、文字数が少なく、大事な内ようが入っている文であることが大切です。どのような文にしたらいいか話し合うなどして、ふさわしい文を考えましょう。
スライドでじょうほうをつたえるときには、文字数が少なく、大事な内ようが入っている文であることが大切です。問題をよく読んで、どのような文にしたらいいか話し合うなどして、ふさわしい文を考えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(3)	選択・短答・記述式	10分	易・ 普通 ・難

(3) グループで作ったスライドのじゅん番を考えた後に、スライドに動画をくわえて、じょう水場の実さいの様子を伝えることにしました。次の動画は、下の【スライドの流れ】①～⑤のスライドのどこかに入れるとよいですか。一番ふさわしい場所を【動画のスライドを入れる場所】ア～オから1つえらびましょう。また、その理由を【理由】カ～コから1つえらびましょう。

【スライドの流れ】

① 身近な水とわたしたちの生活
② 水道の水はどこから？
③ 飲み水を手に入れる方法はどうか変わった？
④ 川の水が飲み水になるまで
⑤ まとめ

【動画のスライドを入れる場所】

- ア ①と②の間
- イ ②と③の間
- ウ ③と④の間
- エ ④と⑤の間
- オ ⑤の後

【理由】

- カ 動画のスライドは、スライド全体の中でかっこよさをくわえているから。
- キ 動画のスライドでは、直前のスライドのかずについて話しているから。
- ク 動画のスライドは直前のスライドをまとめ、直後のスライドにつなぐ内よう、全体の流れに合うから。
- ケ 動画のスライドの内ようが、スライド全体のまとめになっているから。
- コ 動画のスライドの内ようは、スライドの見た目がよくなるものだから。

＜出題のねらい＞

動画の内容を理解し、スライドのつながりについて論理的に考えて、動画のスライドを適切に挿入できるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「広げ深める」新たな考えに気付く。自分の考えを伝える。

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** **問題発見・解決能力**

＜授業改善の視点＞

発表する資料を作成した後、効果的に相手に情報を伝えるため、必要に応じて資料の順番を考えなおしたり、資料を追加、削除などの見直しをする場面を設定しましょう。その際に、どうしたらより効果的に伝えられるか、理由とともに話し合わせるとよいでしょう。それぞれの資料の情報をよく読み取らせ、全体や前後のつながりを考えることができるように指導しましょう。

＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件	解答例	個票への記述
1	◎ 追加するスライド（動画）の内容を理解し、スライドのつながりを考えて、スライド（動画）の追加場所とその理由を正しく選んでいる。	場所ウー理由ク	じょう水場についての動画の内ようをよく理かいし、動画のスライドを加える正しい場所とその理由を正しくえらぶことができます。今後も見る人に伝わりやすいよう全体や前後の流れを考えましょう。
2	追加するスライド（動画）の内容を理解し、スライド（動画）を入れる正しい追加場所を選んでいるが、その理由を正しく選んでいない。	場所ウー理由ク以外	じょう水場についての動画のスライドを入れる正しい場所をえらぶことができます。次は、動画の中で、直前と直後のスライドについて話していたことなどを考え、どうしてその場所がよいのか考え、見る人に伝わりやすいようにしましょう。
3	追加するスライド（動画）を正しい場所に追加する理由は正しく選んでいるが、追加場所を正しく選んでいない。	場所ウ以外ー理由ク	じょう水場についての動画のスライドを正しい場所に入れる理由は、正しくえらぶことができます。動画で直前と直後のスライドについて話していたことなどを考え、全体の流れに合う場所がどこか、見る人に伝わりやすいようにしましょう。
4	追加するスライド（動画）を入れる正しい追加場所やその場所に入れる理由を正しく選んでいない。	場所ウ以外ー理由ク以外	じょう水場についての動画の内ようどどのスライドがつながるかを考え、スライドを入れる場所をきめましょう。また、どうしてその場所がよいのか考え、見る人に伝わりやすいようにしましょう。
0	無解答	—	じょう水場についての動画で、「飲み水を手に入れる方法はどうか変わった？」や「水がきれいになるまで」の話があったことから、その間にスライドを入れるとよいでしょう。スライドをどの場所に入れるとつながりがよいか話し合うなどして、ふさわしい場所を考え、見る人に伝わりやすいようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(4) 1	選択・短答 (記述式)	10分	易・(普通)・難

スライドを学習発表会で見てもらい、「わたしたちの生活に身近な水のことがよくわかった。」と褒めてもらうことができたね。

しょう

最後に学習の振り返りとして、「つたわるスライドのつくり方」を下のよう
にまとめておくことにしよう。

ななみ

(4) ななみさんは「スライド作りのポイント」①～③を書くことにしました。①～③には、今回の問題の(1)～(3)をそれぞれふり返って書きます。①の文をさんこうにして、②は「スライドにのせる文は、」に続けて書き、③は自分で考えてかんげいさせましょう。②、③のどちらも、15字から40字で書きましょう。

つたわるスライドの作り方
～スライド作りのポイント～

① しりょうのえらび方 (1)をふり返って)
つたえたい内ように合わせて、しりょうをえらぶとよい。

② スライドにのせる文の書き方 (2)をふり返って)
スライドにのせる文は、

答えは、配られた原こう用紙に書きましょう。

③ スライドのしゅん量のならへ方 (3)をふり返って)

答えは、配られた原こう用紙に書きましょう。

<出題のねらい>

設問(2)の学習を振り返り、「スライド作りのポイント」を自分の言葉でまとめることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」学んだことを確実に身に付ける。学んだことをまとめる。思考の過程を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

単元の「振り返り」は、これまでの学習内容を踏まえ、児童自身が身に付けた資質・能力をメタ認知できるように工夫しましょう。学習の目的に対し、ゴールがどうであったか、その過程で学んだことは何かを話し合わせ、クラス全体で共有させましょう。本設問のように、これまでの学習内容に応じた表現方法で振り返りを行うことも工夫の一つです。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 条件①、②、③を満たして解答しているもの 正答の条件①：文の内容に関すること(採点基準①「要旨を落とさない」「伝えたいことを抜かさない」など)を書いている。 正答の条件②：文字数に関すること(採点基準②「減らす」「少なくする」など)を書いている。 正答の条件③：15字以上40字以内で書かれている。	つたえたい内ようをぬかさずに、文字数をへらして書くとよい。
2	○ 条件①、③を満たし、②を満たさないで解答しているもの	つたえたい大事な内ようを落とさないで、書くとよい。
3	○ 条件②、③を満たし、①を満たさないで解答しているもの	見やすくするために文字数をへらして書くとよい。
4	条件①、②を満たし、③を満たさないで解答しているもの	つたえたい内ようをぬかさずに書いた方がよい。また、文字数が多いとみづらいので、へらして書くとよい。
5	条件①を満たし、②、③を満たさないで解答しているもの	内ようをぬかさずに書く。
6	条件②を満たし、①、③を満たさないで解答しているもの	数をへらして書く。
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)の内ようをふまえて、てき切な文量でまとめることができている。これからも学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめてみましょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)の内ようをふまえて書くことができている。文字数をへらすとよいことなど、学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめることで、より内ようを身につけることができるでしょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)の内ようをふまえて書くことができている。伝えたいことをぬかさなないことなど、学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめることで、より内ようを身につけることができるでしょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)の内ようをふまえて書くことができている。さらに、文字数を意きしながらまとめてみましょう。学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめるより内ようが身につくでしょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)の内ようをふまえて書くことができている。さらに、文字数を意きしながらまとめてみましょう。学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめるより内ようが身につくでしょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)で学んだ、伝えたいことをぬかさなないことや文字の数をへらすことなど、友だちと話し合ってまとめてみましょう。
「スライドにのせる文の書き方」について、問題(2)で学んだ、伝えたいことをぬかさなないことや文字数をへらすことなど、友だちと話し合って自分の言葉でまとめてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(4) 2	選択・短答・ 記述式	9分	易 普通 難

スライドを学習発表会で見てもらい、「わたしたちの生活に身近な水のことがよくわかった。」と言ってもらうことができたね。

しょう

最後に学習のふり返りとして、「つたわるスライドのつくり方」を下のよう
にまとめておくことにしよう。

ななみ

(4) ななみさんは「スライド作りのポイント」①～③を書くことにしました。①～③には、今回の問題の(1)～(3)をそれぞれふり返って書きます。①の文をさんこうにして、②は「スライドにのせる文は、」に続けて書き、③は自分で考えてかんせいさせましょう。②、③のどちらも、**15字から40字**で書きましょう。

つたわるスライドのつくり方
～スライド作りのポイント～

① しりょうのえらび方 (1)をふり返って)
つたえたい内ように合わせて、しりょうをえらぶとよい。

② スライドにのせる文の書き方 (2)をふり返って)
スライドにのせる文は、

答えは、配られた原こう用紙に書きましょう。

③ スライドのじゅん番のならべ方 (3)をふり返って)

答えは、配られた原こう用紙に書きましょう。

<出題のねらい>

設問(3)の学習を振り返り、「スライド作りのポイント」を自分の言葉でまとめることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」学んだことを確実に身に付ける。学んだことをまとめる。思考の過程を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

単元の「振り返り」はこれまでの学習内容を踏まえ、児童自身が身に付けた資質・能力をメタ認知できるように工夫しましょう。学習の目的に対し、ゴールがどうであったか、その過程で学んだことは何かを話し合わせ、クラス全体で共有させましょう。本設問のように、これまでの学習内容に応じた表現方法で振り返りを行うことも工夫の一つです。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの 正答の条件①: スライドの内容に関すること (採点基準①「内容を考える」「伝えたいことを考える」など)を書いている。 正答の条件②: スライドの流れに関すること (採点基準②「つながりを考える」「前後の流れを考える」など)を書いている。 正答の条件③: 15字以上 40字以内で書かれている。	スライドのじゅん番は、スライドの内容と前後の流れを考えるとよい。
2	○ 条件①, ③を満たし、②を満たさないで解答しているもの	スライドのじゅん番は、スライドの内容を考えるとよい。
3	○ 条件②, ③を満たし、①を満たさないで解答しているもの	スライドのじゅん番は、スライドのつながりを考えるとよい。
4	条件①, ②を満たし、③を満たさないで解答しているもの	スライド内容と前後を考える。
5	条件①を満たし、②, ③を満たさないで解答しているもの	スライドの内容を考える。
6	条件②を満たし、①, ③を満たさないで解答しているもの	スライドの前後を考える。
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて、てき切な分量でまとめることができている。これからも学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめてみましょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて書くことができている。追加するスライド内ようを入れるにはどこの場所が適切かを考えるとよいことなど、学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめることで、より内ようを身につけることができるでしょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて書くことができている。追加する動画スライドがどのような内容を伝えているかを考えることなど、学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめることで、より内ようを身につけることができるでしょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて書くことができている。さらに、文字数を意識しながらまとめてみましょう。学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめるより内ようが身につくでしょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて書くことができている。さらに、文字数を意識しながらまとめてみましょう。学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめるより内ようが身につくでしょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)の内ようをふまえて書くことができている。さらに、文字数を意識しながらまとめてみましょう。学んだことをふり返って、自分の言葉でまとめるより内ようが身につくでしょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)で学んだ、スライドの内ようや流れを考えるとなどを、友だちと話し合ってみましょう。
「スライドのじゅん番のならべ方」について、問題(3)で学んだ、スライドの内ようや流れを考えるとなどを、友だちと話し合ってみましょう。